平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	英会話教育の充実	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	教育総務費	01
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小･中学校、幼稚園児童生徒	外国語（英語）に慣れ親しんだり、習得することで、国際的な視野を持った感受性豊かな児童生徒の育成を図ります。

事業の実施内容

○4小学校へ日本人英語指導助手を配置（予算額　7，200千円　決算額　7，200千円）
150,000円×4人×12月＝7,200,000円

2中学校へ外国人英語指導助手を配置（予算額　7，560千円　決算額　7，560千円）
315,000円×2人×12月＝7,560,000円

英会話教室（臨時職員賃金）（予算額　125千円　決算額　112千円）

事業の成果

幼稚園児や小学生は英語に慣れ親しむことができ、中学生は英語習得を助長することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,885	14,872					14,872

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	学校教育の充実	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	教育総務費	01
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	事務局費	02

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町立小･中学校、幼稚園児童生徒	学習しやすい環境をつくる

事業の実施内容

○指導主事の設置(予算額　8,849千円　決算額　8,849千円)

教育委員会総務課に教育の専門職員として指導主事を配置しています。幼稚園、小･中学校教諭への指導･助言等を行っています。

○教育相談員の設置(予算額　1,080千円、決算額　1,080千円)

青少年の健全な育成のために、教育相談や出席不良･不登校･児童虐待･いじめ等の相談･指導･支援活動を行っています。

○知能テスト及び学力検査委託事業(予算額　2,336千円　決算額　2,299千円)

知能テストは小学校3年生を対象に、到達度検査を1年生から5年生まで、学力検査は1年生から5年生までと中学1･2年生を対象に行い、検査結果を分析して児童･生徒個々に応じた指導計画に活かしています。

○学力向上対策委員会への補助(予算額　1,500千円　決算額　1,500千円)

町学力向上対策委員会は、町立幼稚園、小･中学校及び町内各PTAで構成しており、児童･生徒の学力向上のために学校、家庭、地域がいろいろな活動に取り組んでいます。

町学力向上対策委員会の実践発表会の様子

事業の成果

町立幼稚園、小･中学校生の学習環境が充実しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,765	13,728					13,728

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	教科書改訂事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	小学校費	02
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小学校、中学校	4年に一度の教科書改訂にあわせて、教師用指導書などを購入し、円滑な授業が行えるようにします。

事業の実施内容

教科書改訂事業（予算額　6，666千円、決算額　6，534千円）

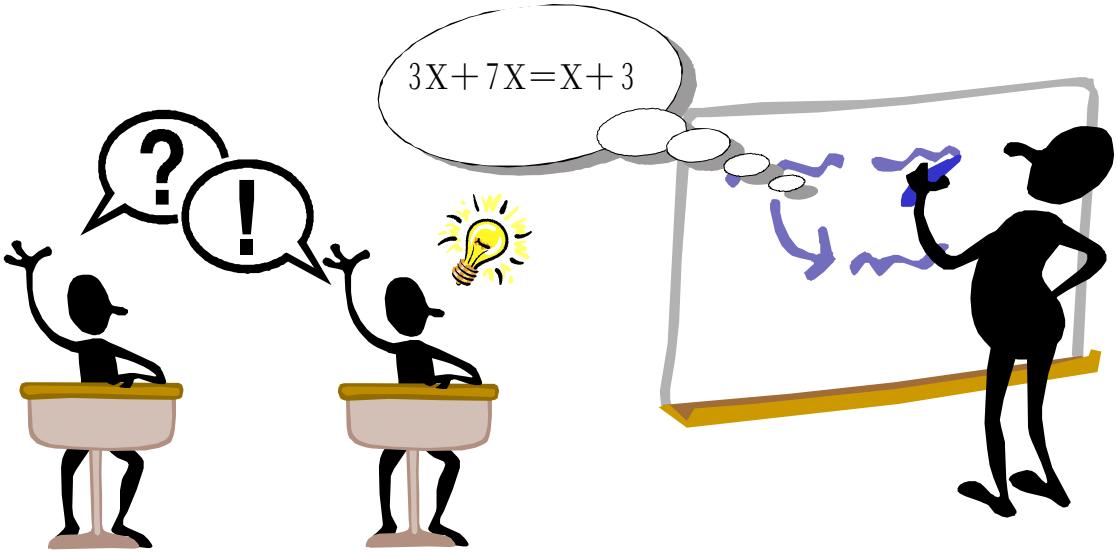
教科書改訂に伴う消耗品費

○小学校（予算額　394千円、決算額　391千円）
○中学校（予算額　250千円、決算額　221千円）

教科書改訂に伴う備品購入費

○小学校（予算額　1，122千円、決算額　1，121千円）
○中学校（予算額　4，900千円、決算額　4，801千円）

※　小学校分の支出は、平成17年度改訂時の支払い分です。



事業の成果

4年に一度の教科書改訂にあわせて、教師用指導書などを購入することにより、新しい教科書による授業を円滑に進めるための学習環境を整えることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,666	6,534					6,534

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	就学奨励事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	小学校費･中学校費	2･3
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者、特殊学級在級児童生徒の保護者	経済的負担が軽減され、児童生徒の快適で楽しい学校生活を実現する。

事業の実施内容

就学奨励事業（予算額　30，412千円、決算額　30，070千円）

要保護準要保護児童生徒援助費

○小学校（予算額　15，481千円、決算額　15，477千円）

要保護準要保護児童援助費支給者数

･要保護　　16人

･準要保護　236人

○中学校（予算額　14，181千円、決算額　14，073千円）

要保護準要保護生徒援助費支給者数

･要保護　　7人

･準要保護　163人

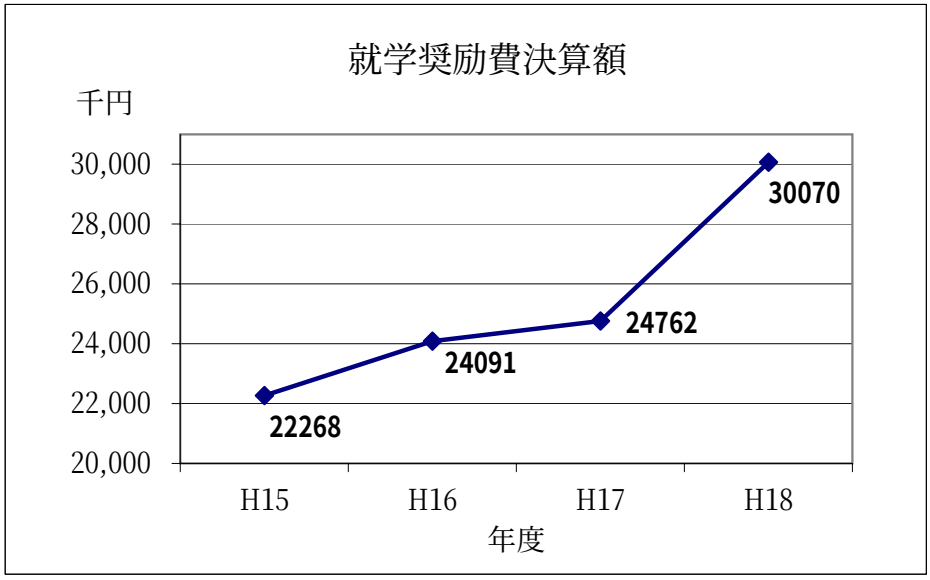
特殊教育就学奨励費

●小学校（予算額　600千円、決算額　403千円）

特殊教育就学奨励費支給者数　14人

●中学校（予算額　150千円、決算額　117千円）

特殊教育就学奨励費支給者数　　2人



事業の成果

経済的な理由により就学困難な児童生徒に就学援助をすることにより、義務教育の円滑な実施を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,412	30,070	582				29,488

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	「心の教室相談員」配置活用事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889-6181		項	教育総務費	01
施策	教育・学習環境の整備充実		目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校における不登校や児童虐待の問題	児童・生徒をとりまく問題（不登校や児童虐待など）について、「心の教室相談員」が教育相談員、学校及び関係機関と連携して、問題解決に努めます。

事業の実施内容

1. 相談員報酬　　1,002千円

2人の心の教室相談員が、週3日（火・水・金）半日程度、町内の小・中学校を適宜巡回し、相談にあたっています。

2. 消耗品等　　87千円

南風原町の不登校児童・生徒の現状について（平成14年度～18年度）

（小学校）

年度	H14（年間）			H15			H16			H17			H18		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10日未満	0	1	1	4	0	4	0	0	0	0	1	1	1	0	1
10～29日未満	0	0	0	0	3	3	1	1	2	1	1	2	0	0	0
30日以上	0	1	1	2	1	3	3	2	5	1	0	1	3	2	5
計	0	2	2	6	4	10	4	3	7	2	2	4	4	2	6

（中学校）

年度	H14（年間）			H15			H16			H17			H18		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10日未満	2	4	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
10～29日未満	2	3	5	1	0	1	2	0	2	3	1	4	4	2	6
30日以上	16	9	25	7	5	12	9	4	13	12	4	16	4	6	10
計	20	16	36	9	5	14	11	4	15	15	5	20	8	9	17

事業の成果

前年度と比較して、30日以上の不登校の数が小学生では4人増、中学生では6人減となっています。不登校の態様としては、小学生では不安などの情緒的混乱や複合（いくつかの理由が複合）のケースが多く、中学校では、複合や学校生活上の影響、情緒的混乱によるケースがほとんどをしめています。

相談員は学校と連携して出席不良・不登校・いじめなど問題行動のある児童・生徒への相談活動等を行い、中学校では30日以上の不登校の生徒が前年度に比べ大きく減りました。小学校では増加したものの、うち1人は教室への登校復帰をしています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,267	1,089					1,089

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	私立幼稚園就園奨励事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課　子育て支援班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	幼稚園費	04
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住で、私立幼稚園に通う4歳と5歳児を対象とします。	各世帯の所得に応じて補助金を交付し、幼児教育の普及振興を図ります。

事業の実施内容

私立幼稚園補助金　　3，465 千円

単位　：　人　、千円

幼稚園名	該当園児数			補助金交付額
	4歳児	5歳児	合計	
開邦幼稚園	15	12	27	2，135
クララ幼稚園	5	5	10	791
津山幼稚園	2	0	2	138
報恩幼稚園	2	2	4	245
首里カトリック幼稚園	0	1	1	57
真栄原カトリック幼稚園	0	1	1	57
愛児幼稚園	1	0	1	42
合　　計	25	21	46	3．465

事業の成果

保護者の経済的負担を軽減することにより、幼児教育の機会均等が推進されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,598	3,465	1,136				2,329

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ヘルパー配置事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889-6181		項	小学校費･中学校費･幼稚園費	2･3･4
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	学校管理費･幼稚園費	01

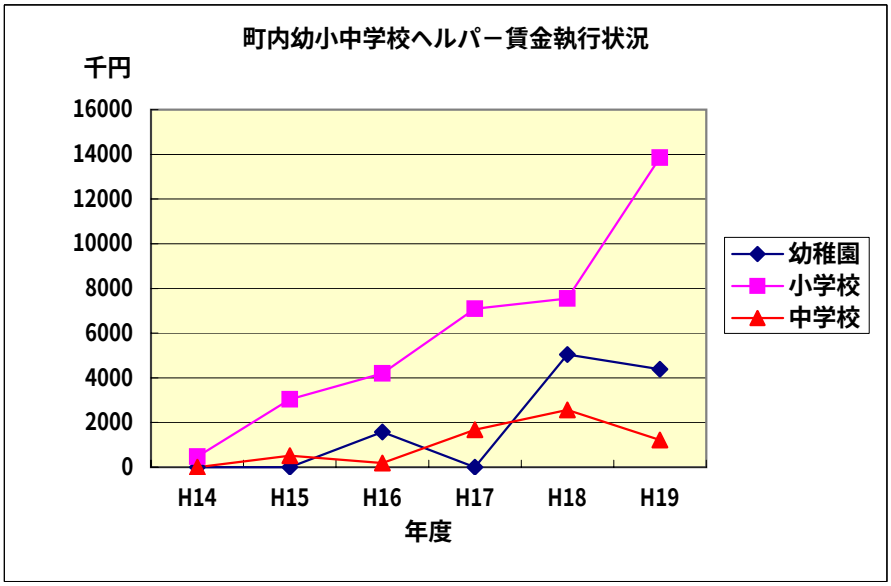
事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園、小学校、中学校に通う障がい児	障がい児一人一人の教育を補償し、自立して生きていくことのできる力を育てます。

事業の実施内容

○小学校　（予算額　8，198千円、　決算額　7，551千円）
ヘルパー配置人数
･南風原小学校　3名
･津嘉山小学校　3名
･北丘小学校　　2名
･翔南小学校　　1名

○中学校　（予算額　2，564千円、　決算額　2，564千円）
ヘルパー配置人数
･南風原中学校　3名

○幼稚園　（予算額　5，083千円、　決算額　5，046円）
ヘルパー配置人数
･南風原幼稚園　2名
･津嘉山幼稚園　5名



※平成19年度の数値は当初予算額です。

事業の成果

障がいのある児童生徒が安全な学校生活を送ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,845	15,161					15,161

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	預かり保育事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889-6181		項	幼稚園費	04
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園に通う幼稚園児	午前中保育の終了後等幼稚園で引き続き保育を行い、共働き家庭の保護者の子育て支援に寄与します。

事業の実施内容

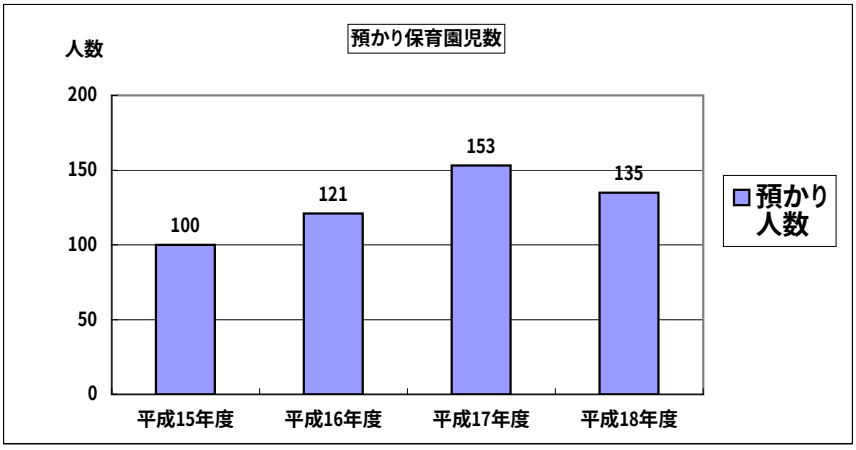
幼稚園預かり保育臨時職員賃金　　7,692　千円

預かり保育は、近年増え続ける核家族や両親とも働いている家庭の保護者の子育て支援として、町立幼稚園の4園で午前中保育の終了後から午後6時30分までの間、引き続き保育を行うものです。

1 預かり保育実施状況

単位　：　人　、千円

	在園児童数	預かり保育園児数	預かり保育臨時職員数	預かり保育臨時職員賃金
南風原幼稚園	79	35	2	2，275
津嘉山幼稚園	101	37	3	1，867
北丘幼稚園	106	36	2	2，266
翔南幼稚園	56	27	2	1，284
計	342	135	9	7，692



事業の成果

共働き家庭の保護者の子育て支援に資することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,879	7,692					7,692

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	津嘉山小学校進入路整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課　庶務班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	小学校費	02
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	学校建設費	03

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	津嘉山小学校の児童、町民など	学校行事等で大型バス及び教職員の出勤等での出入り口を体育館の裏側に進入路を整備することで、児童生徒の安全が図られるとともに行事等で活力し、特色ある学校づくりを目指します。

事業の実施内容

○測量設計委託料　　予算額 ： 2，100千円　決算額 ： 1，838千円

○工事請負費　　予算額 ： 6，070千円　決算額 ： 0 千円

○用地購入費　　予算額 ： 6，750千円　決算額 ： 0 千円

学校の体育館の裏側の現通路を拡幅し、児童の安全を図っていきます。

平成19年度への繰越額

○工事請負費　　6，070千円

○用地購入費　　6，750千円

体育館の裏側

事業の成果

学校行事等で大型バス及び教職員の出勤等での出入り口を体育館の裏側に進入路を整備を目指しましてたが、事業は平成19年度への繰越事業となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,220	1,838			1,500		338

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原中学校校舎建設事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課　庶務班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	中学校費	03
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	学校建設費	03

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原中学校の生徒、町民など	校舎の老朽化による危険改築事業を実施することで、児童生徒の活力ある人格形成の場と、特色ある学校づくりを目指します。

事業の実施内容

○設計監理等委託料　　予算額 ： 15,650千円　決算額 ： 15,650千円

○工事請負費　　予算額 ：667,060千円　決算額 ：667,023千円

教室棟、管理棟の天井などからコンクリートの落下が確認され、それに伴い平成17年度、18年度の2年間で北側教室棟、管理棟を解体撤去し校舎の改築を行いました。

平成17年度からの繰越額

○設計監理委託料　7,825千円

○工事請負費　100,569千円

完成後の校舎

事業の成果

現在は1･2年生の普通教室、特別教室、職員室、事務室等は仮設校舎に移転し、校舎を適正配置することにより、管理体制が確立されて、学校用地の有効利用が図られます。新校舎は平成17年度からの継続事業で平成18年12月に工事が完了し、平成19年1月から新校舎で安心･安全な学校生活を送ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	682,710	682,673	429,996		129,000		123,677

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原中学校水泳プール建設事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課　庶務班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	中学校費	03
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	学校建設費	03

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	南風原中学校の生徒、町民など	プールの老朽化による安全･安心な学校づくり事業を実施することで、児童生徒の活力ある人格形成の場と、特色ある学校づくりを目指します。

事業の実施内容

○設計監理等委託料　　予算額 ： 1,680千円　決算額 ： 1,512千円

○工事請負費　　予算額 ：104,603千円　決算額 ：93,771千円

プールの老朽化に伴い、既設のプールを解体撤去し、新校舎の屋上に改築を行いました。

平成19年度への繰越額

○設計監理委託料　　168千円

○工事請負費　　10,832千円

プール跡地

現況(新校舎屋上のプール)

事業の成果

プールが校舎屋上に建設されて、学校用地の有効利用が図られました。プールの工事は平成18年度からの継続事業で平成19年4月に工事が完了し、平成19年度からプールが活用され、安心･安全な学校生活を送ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	106,283	95,283	47,913		40,100		7,270

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	学校コンピュータ整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	教育部 学校教育課 学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	中学校費	03
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	教育振興費	02

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	中学校:生徒	1人1台コンピュータの環境を整備し、情報活用能力の育成とICTを活用した学力向上に取り組みます。また、機器の耐用年数やメーカーのサポート期間を考慮し、計画的な整備を行います。

事業の実施内容

平成18年度は、2中学校のコンピュータ教室の再整備を行い、教師用2台と生徒用40台を設置しました。

決算額　パソコン使用料　664千円
(2中学校コンピュータ教室PCリース料)

ライセンス使用料　315千円

南星中学校コンピュータ教室整備

事業の成果

中学校2校のコンピュータ教室の再整備を行い、全生徒が1人1台の環境でコンピュータ授業をできる環境を整えました。また、サーバー側でアプリケーションやファイル等を管理するシンクライアントの整備を行い、教師がコンピューターの管理にかかる負担を減らしました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000	979					979

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	校内LAN整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課　学校教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	中学校費	03
施策の大綱	教育･学習環境の整備充実		目	学校建設費	03

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	中学校:生徒	ICT教育の充実と校務の情報化を図るため、校内LANの整備を推進します。 ※ICT(情報通信技術)

事業の実施内容

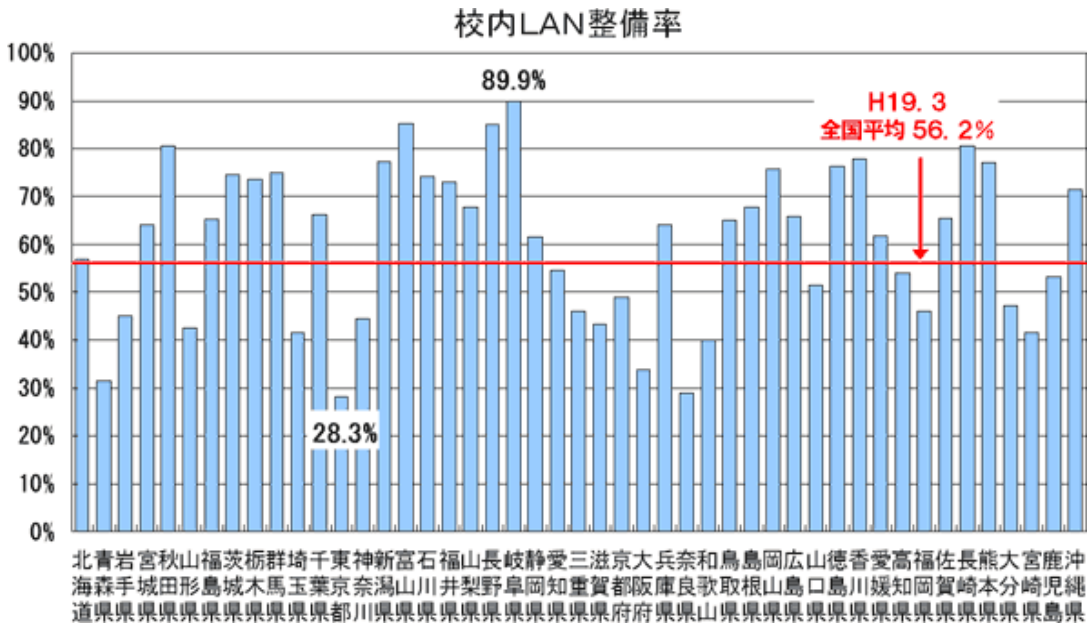
平成18年度は、2中学校の校内ネットワーク整備を行いました。

○校内LAN整備(2中学校)　　:　4,347千円

○南星中学校コンピュータ教室LAN工:　　109千円

○南風原中学校スイッチ等設定工事　:　　221千円

平成19年3月現在　全国校内LAN整備率



※平成19年6月12日　文部科学省公表データより

南風原町　　平成19年3月現在　校内LAN整備状況

中学校　　100%

小学校　　0%(平成19年度整備予定)

事業の成果

町内2中学校において校内ネットワークを整備し、普通教室や特別教室等校内全ての教室でインターネット上にある多種多様なコンテンツを利用できる環境を整えました。
また、教職員がネットワークを利用して、教科、進路、部活動などの情報を収集し生徒へのきめ細かな指導ができるようにしました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,400	4,677					4,677

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	学校給食用材料費	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校給食共同調理場		款	教育費	10
連絡先	889－3691		項	保健体育費	06
施策の大綱	学校給食の充実		目	学校給食賄費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内小中学校児童生徒及び職員	「食」について正しい理解と習慣を養い、栄養の確保に十分配慮した「おいしく・楽しい・魅力ある学校給食」を実現します。

事業の実施内容

児童生徒に給食を提供することで、食事について正しい理解と望ましい習慣を養い、学校生活を豊かにし、明るい社交性を育みます。また、栄養及び健康の増進を図り、食料の生産・消費について正しい理解に導きます。一年間に小学生一人当たり、一食210円で月額3,800円の11ヶ月分、中学生からは一食240円で月額4,300円の11ヶ月分の給食費を徴収しています。

賄い材料費　　予算額 177,906千円　　決算額 177,783千円

給食費　171,481千円(児童生徒の保護者から徴収した分)

★給食の一例を紹介します。★

・マーボーどうふ　・ごはん
・さばゴマやき　・牛乳

・ごはん　・中華丼　・つくね
・サーターアンダギー　・牛乳

・スパゲティミートナス・オレンジ
・さつまピロシキ・牛乳

・すしごはん(手巻き寿司)
・みそ汁　・やきのり　・牛乳

・ハムチーズサンドフライ　・バーガーパン
・ミネストローネ　・パイン　・牛乳

事業の成果

常に安全でおいしい給食を提供することはもちろんのこと、町の特産である「カボチャ」、「ヘチマ」、「ゴーヤー」を使った給食を提供しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	177,906	177,783				171,481	6,302

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	共同調理場施設委託費	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校給食共同調理場		款	教育費	10
連絡先	889－3691		項	保健体育費	06
施策の大綱	学校給食の充実		目	共同調理場運営費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内小中学校児童生徒及び職員	いつも、安心・安全でおいしい給食が提供できるよう、衛生的な施設の維持を図ります。

事業の実施内容

児童生徒の皆さんへ、いつもおいしい給食を提供できるよう、調理場にある様々な機会の点検や清潔を保つための検査を定期的に行っています。また、ねずみやゴキブリなどの駆除も行っています。安全で清潔な施設の維持管理に努めています。

主な委託業務の内容	予算額	決算額
・微生物検査委託料	785千円	784千円
・野そ等防除委託料	448千円	447千円
・ボイラー保守点検委託料	492千円	491千円
・ゴミ処理委託料	441千円	441千円
・浄化槽管理委託料	364千円	363千円
・ルーフファン(換気扇)等清掃委託料	315千円	315千円
・他、施設の運営に関する委託料	1,249千円	1,197千円
合　　計	4,094千円	4,038千円

↑ﾙｰﾌﾌｧﾝ(換気扇)等清掃委託の様子

↑浄化槽管理委託業務の様子

事業の成果

学校給食における伝染病及び食中毒を防止するため、給食施設や従事者及び食材について、検査等を実施し衛生管理を図ることができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,094	4,038					4,038

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	給食調理器の修繕などの整備費	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校給食共同調理場		款	教育費	10
連絡先	889－3691		項	保健体育費	06
施策の大綱	学校給食の充実		目	共同調理場運営費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内小中学校児童生徒及び職員	給食を作るために、洗う洗剤、機械が壊れた時の修繕費等、まを、「給食だより」の印刷して、保護者の方々にも給食の食材の紹介を図ります。

事業の実施内容

主な運営費の内容

	予　算	決　算
＊パート調理職員等賃金	2,850千円	2,599千円
＊修繕費	4,819千円	4,804千円
＊給食だより等印刷製本費	1,150千円	1,032千円
＊燃料費	5,138千円	5,014千円
＊光熱水費	7,372千円	7,324千円
＊通信運搬費	551千円	507千円
＊手数料	1,718千円	1,528千円
＊使用料及び賃借料	486千円	409千円
＊他、消耗品費等	4,503千円	4,364千円
合　　計	28,587千円	27,581千円

事業の成果

安全でおいしい給食をつくるため、調理場の機械等は常時整備され、故障にもすぐ対応出来るようにしており、また、衛生管理にも配慮し、毎月の「給食だより」で「食育」についての成果を上げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,587	27,581					27,581

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会教育研修会事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習振興課　社会教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	社会教育費	05
施策の大綱	生涯学習・スポーツの振興		目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の社会教育団体など	各団体のリーダに対して、団体活動の方法・意義等を習得させ、リーダ育成を図ります。

事業の実施内容

	予算額	決算額
子ども会育成者国内研修	81 千円	81 千円
高齢者リーダ研修	81 千円	81 千円
子ども会インリーダ研修	81 千円	81 千円
女性リーダ研修	81 千円	81 千円
青年リーダー研修	81 千円	81 千円

子ども会インリーダ研修

事業の成果

町内各支部の老人会、女性会、子ども会など社会教育団体のリーダーの皆さんを対象に研修を行っています。研修では活動の目的や方法などを学んだり、情報交換をすることで、それぞれの支部などの活動を活性化する原動力となっています。また、参加する団体の皆さんで、研修内容などの計画立案を行うことで、「リーダー育成を図る」という目的により則した研修となっています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	405	405					405

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会体育補助金及び負担金	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	教育部 生涯学習振興課 社会体育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	保健体育費	06
施策の大綱	生涯学習・スポーツの振興		目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内の社会体育団体、町民など	町内スポーツ団体の活動を支援し、スポーツ大会にも補助をして、社会体育の充実発展を図ります。

事業の実施内容

	予算額	決算額
沖縄県体育指導員競技会負担金	4 千円	4 千円
南部地区体育指導委員協議会負担金	2 千円	2 千円
南風原町体育協会負担金	7,650 千円	7,650 千円
南風原町スポーツ少年団本部補助金	494 千円	494 千円
南部ﾄﾘﾑマラソン運営負担金	228 千円	228 千円
南風原町長杯バスケットボール大会補助金	30 千円	30 千円
南風原町長杯少年野球大会補助金	30 千円	30 千円
南風原町杯サッカー大会補助金	30 千円	30 千円
南風原町長杯アイスホッケー大会補助金	30 千円	30 千円
町民踊レク愛好会補助金	65 千円	65 千円

事業の成果

各団体は町内外の大会で優秀な成績を収めています。また、町長杯では、参加者による自主運営で大変盛り上がっており、人材育成の面で成果をあげています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,563	8,563					8,563

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会教育補助金及び負担金	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習振興課　社会教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	社会教育費	05
施策の大綱	生涯学習・スポーツの推進		目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の各種団体及び協議会	各種団体の援助として、補助金を交付して団体の活動の活性化とリーダ育成を図ります。

事業の実施内容

	予算額	決算額
○運営補助金交付先及び交付金		
町青年連合会	900 千円	900 千円
町ＰＴＡ連絡協議会	2,126 千円	2,126 千円
町子ども会育成協議会	450 千円	450 千円
ジュニアリーダー	81 千円	81 千円
町青少年健全育成協議会	450 千円	450 千円
町女性連合会	1,170 千円	1,170 千円
○学級開設補助金		
高齢者学級	845 千円	780 千円（12団体）
家庭教育学級	390 千円	390 千円（6校）
○負担金		
島尻地区「少年の翼」小学生11名　中学生2名　高校生2名　計1	675 千円	675 千円
南部広域視聴覚ライブラリー	1,612 千円	1,612 千円
○その他負担金及び補助金	209 千円	203 千円

← 少年の主張大会

事業の成果

各種団体による自主事業の開催により、各支部とのネットワークの広がり、親睦が図れました。また、研修会での学習及び情報交換することで、リーダーの資質向上が図られ、支部活動を活性化する原動力となっています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,908	8,837					8,837

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会教育指導員の育成事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習振興課　社会教育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	社会教育費	05
施策の大綱	生涯学習･スポーツの推進		目	社会教育総務費費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民	社会教育団体の活動をより充実し、活性化を図るため、学習相談や育成援助を行います。

事業の実施内容

	予算額	決算額
社会教育指導員報酬	1,080 千円	1,080 千円

1. 社会教育指導員の配置(1名)

2. 社会教育指導員の勤務形態
   原則として、月･水･金の週3日
   午前8時30分～午後5時15分まで勤務です。

3. 主な内容
   (1)休会組織の立ち上げに向けての指導及び支援
   (2)学級開設や研修会の学習相談
   (3)各社会教育団体の運営に関する相談及び支援

事業の成果

老人クラブ、女性会、青年会、子ども会などの社会教育団体に対し、活動に対する相談にのったり、助言をすることで、各団体活動をより充実し、活性化することに寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,080	1,080					1,080

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	公民館活動の充実事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習振興課　公民館		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	社会教育費	05
施策の大綱	生涯学習･スポーツの振興		目	公民館費	02

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民及び町内の事業所に勤務する者	町民の生涯学習の拠点で社会活動を推進する役割と機能を備えた施設で、町民の学習意欲を高め豊かな人間性と創造力を身につけることを目的とする。

事業の実施内容

	予算額	決算額
各種講座講師謝礼金	961 千円	961 千円

(公民館講座事業名)

1. パソコン入門(昼間)
2. パソコン入門(夜間)
3. 三　線
4. かすり太鼓
5. 少年少女コーラス
6. うちなーぐち
7. 夏休み絵画
8. 家庭料理
9. お父さんの料理
10. 文化財･史跡めぐり
11. 家庭園芸
12. 袋物工芸
13. 夏休み親子琉球手まり
14. 夏休み親子陶芸
15. 3B体操

(自治公民館講座)

1. 与那覇公民館　2. 大名公民館　3. 宮平公民館　4. 兼城公民館
5. 喜屋武公民館　6. 照屋公民館　7. 兼本ハイツ　8. 第二団地

※公民館講座受講者
公民館講座･････････281名(15講座)
自治公民館講座･････････153名(8カ所)

事業の成果

公民館は、講座を通して学習の場、豊かな心、仲間づくり等につながり、生活の向上に役立っている。又、公民館講座で習得した事を、毎年開催される公民館まつりで、一年間の成果を発表出きる場があり、町民から事業に対する高い評価を受けています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	961	961					961

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	図書の整備充実事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習振興課　公民館		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	社会教育費	05
施策の大綱	生涯学習・スポーツの振興		目	公民館費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民及び町内の事業所に勤務する者	幼児から大人までの幅広い要求に応えられるよう充実した図書室運営を図ります。

事業の実施内容

	予算額	決算額
月刊誌、図書などの購入費（消耗品）	900 千円	900 千円
図書購入費	150 千円	146 千円

○開室日
月・水～金曜日まで
午前10時～午後7時

土曜日・日曜日
午後1時～午後5時

○閉室日
毎週火曜日
国民の祝日
6月23日（慰霊の日）
12月28日～1月3日

●平成18年度の図書室貸出冊数

年間総貸出冊数	25，542冊
月平均	2，129冊
1日平均	92冊

事業の成果

公民館の一部の部屋を利用し、図書室としては大きくないが、年間貸出冊数も25，500冊余に達し有効に利用されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,050	1,046					1,046

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	各種スポーツ教室	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課　保健体育班		款	教育費	10
連絡先	889－6181		項	保健体育費	06
施策の大綱	生涯学習･スポーツの振興		目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内の児童･生徒	生涯スポーツ活動の一環として、各スポーツ教室を通じ、その楽しさや楽しみ方及び仲間づくり、又、安全に対する正しい知識を養います。

事業の実施内容

		予算額	決算額
○夏休み水泳教室	講師謝礼金	320 千円	320 千円
	消耗品費	80 千円	75 千円

対　象:町内小学生の泳げない児童
時　期:平成18年7月24日～7月28日(町内4小学校)
場　所:町内4小学校のプール
参加者:小学校4年生から59名

○夏休みアイススケート教室	講師謝礼金	72 千円	72 千円

対　象:町内小中学生
時　期:平成18年7月21日～7月23日
場　所:サザンヒルアイススケートアリーナ
参加者:小学校　40名

アイススケート教室

○ウオーキング教室	講師謝礼金	80 千円	80 千円

対　象:町民
時　期:平成19年2月7日～2月9日
場　所:黄金森陸上競技場
参加者:　27名

事業の成果

水泳教室は泳げない児童を対象に実施しましたが、最終的には、ほぼ全員が泳げるようになりました。又、楽しみながら息継ぎの方法などを学び、安全な水泳知識を身につけました。
アイススケートも参加した児童がほぼ全員滑れるようになり、ゲームまで楽しめるようになりました。また、町民が健康維持でウォーキング教室を楽しみながら参加していました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	552	547					547

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	町陸上競技場管理運営事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　教育総務課　保健体育班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	保健体育費	06
施策の大綱	生涯学習･スポーツの振興		目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	町民が施設を利用しやすいように嘱託員を配置し、安全で快適な運営を行います。また、山川体育センターは、字山川に管理を委託し健全な運営を図ります。

事業の実施内容

	予算額	決算額
1. 黄金森陸上競技場		
嘱託員報酬(3名)	3,388 千円	3,386 千円
需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費)	4,879 千円	4,820 千円
他、委託料など	3,390 千円	3,062 千円

黄金森陸上競技場→

2. 花･水･緑の大回廊公園		
嘱託員報酬(2名)	1,745 千円	1,745 千円
他、光熱水費など	2,144 千円	1,581 千円

3. 山川体育センター		
管理委託料	456 千円	456 千円
他、光熱水費など	782 千円	671 千円

事業の成果

利用者が安心して快適に過ごせるような施設運営が図れました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,784	15,721					15,721

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	子ども平和学習交流事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	総務費	02
連絡先	889－7399		項	総務管理費	01
施策	町民文化の創造と継承		目	地域づくり推進	12

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内の4小学校の6年生	仲間意識を持って協力し合い、本事業を通した活動で自分の考えや意見を積極的に交換できるようにします。平和や戦争、人権や差別といったあらゆる社会の現象や出来事に目を向け、自分のこととして社会をより深く理解しようとする人材育成に努めます。

事業の実施内容

平成5年度よりスタートしたこの事業は、町内の子どもたちに戦争や平和、人種や人権差別などについて、他地域の関係者や体験者の講話をはじめ、子どもたちとの交流研修、施設見学をさせることによって視野を広め学習を深めさせる目的で実施しています。
毎年町内4小学校の6年生を各学校の推薦により決定しています。訪ねたい地域、交流したい人達などが増え、子どもたちの学習する機会をより広く開拓できてきたものと考えています。平成18年度は7名の児童を広島県、大阪府へ派遣しました。

【平成18年度事業のスケジュール】
・平成18年5月
まず4小学校の児童たちは、自分たちを知ることから始まります。各小学校に募集要項と申込用紙を配布し、7人を決定しました。

・平成18年6月～7月
数回の事前研修や集まりを持ちます。事前研修では、南風原と沖縄戦、ハンセン病のこと、ヒロシマ原爆、松代大本営壕のこと、沖縄の米軍基地のことなどについて学習しました。また、1泊宿泊で愛楽園訪問も行いハンセン病のことを学びました。

・平成18年8月

本研修出発前に激励会と事前研修報告会(7月24日)を開催しました。
本研修は3泊4日で、平成18年度は福岡経由で広島に入り、毎年お世話になっている被爆者の沼田鈴子さんを病院に訪ねました。平和公園や資料館の案内は駆けつけて来た、子ども平和学習のOB(広島大学在学)が引き受けてくれ、子どもたちと交流しました。本研修の終了後、報告会(8月18日)を行い、これまで学習してきたことの報告と、私たちに出来る活動の確認を行いました。

	【予算額】	【決算額】
旅費	143千円	130千円
印刷製本費	80千円	80千円
補助金	493千円	480千円
合　計	716千円	690千円

事業の成果

平成18年度は、広島で毎年お世話になっている被爆者が入院中で、病院を訪ね被爆者の実情を見てもらう形となりまた。広島平和記念公園や資料館の見学に際しては、広島大学に在学中の南風原の子ども平和学習OBに案内してもらい、先輩との出会いもいい刺激になったようでした。広島や大阪人権博物館を訪ね、戦争や平和について考えるときに、国や政府が間違いを起こすこと、差別の構図から争いが起こることなどを学ぶことが出来ました。また参加者は、家庭や学校で、体験したことを伝え社会に対する厳しい目を養いました。次の課題に取り組む積極的な姿勢が期待できます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	716	690				690	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	町史発刊事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	総務費	02
連絡先	889－7173		項	総務管理費	01
施策	町民文化の創造と継承		目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	町の自然・歴史・文化を調査・記録し、それを広く町民に伝えることによって、町民に誇りを与え、これからの南風原の道しるべとなす。

事業の実施内容

町史発刊事業　(予算額:　4,000千円　決算額:　3,906千円)
・印刷製本費(※この事業の予算は、全額平成17年度から明許繰越した予算です。)

・平成2年度からはじまった本事業は、これまでに

『津嘉山大綱曳き』
『南風原歴史民俗地図　60年前の南風原』
第1巻『各字が語る沖縄戦　全12冊』
第2巻『自然・地理資料編』
第3巻『戦争編ダイジェスト版　南風原が語る沖縄戦』
第4巻『自然・地理本編　はえばるの自然と地理』
第5巻『考古編　むかし南風原は』
第6巻『民俗資料編　南風原シマの民俗』
第7巻『社会・文化編　ゼロからの再建』　を発刊し、

平成18年度には、第8巻『移民・出稼ぎ編　ふるさと離れて』を発刊しました。

事業の成果

「移民出稼ぎ」の実態の記録を残し、後世に伝えることができました。また、町内や県外・海外の当事者に配布しました。特に現地の言葉で翻訳し、二世・三世の方々に喜ばれました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,000	3,906				3,906	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	文化財発掘調査受託事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	教育費	10
連絡先	889－7173		項	社会教育費	05
施策の大綱	町民文化の創造と継承		目	文化財保護費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	国道507号(津嘉山地区)改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査を行うことにより、地域に遺されてきた歴史遺産を記録保存する	発掘調査報告書にまとめ、歴史資料として活用していきます。

事業の実施内容

国道507号(津嘉山地区)改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務
(予算額:　9,975千円　決算額:　9,975千円)

・委託料(※この事業の予算は、全額平成17年度から明許繰越した予算です。)

沖縄県南部土木事務所が所管する国道507号(津嘉山地区)改良工事に伴う遺跡の発掘調査です。国道507号(津嘉山地区)の施工予定地内において、事前の聞き取り調査や試掘調査及び現地踏査で確認された遺跡の発掘調査を県からの委託を受けて南風原町が受託しました。調査では、字津嘉山のチカシ毛で第32軍司令部壕の一部を発掘することができ、これまで戦争体験者からの証言でしか窺い知ることのできなかった司令部壕の様子が少なからず明らかになりました。また、津嘉山北地区区画整理事業地区周辺の丘陵(ウヮーグァーウクイ毛近く)では10本を数える旧日本軍の壕を発掘しました。丘陵地下に構築された壕は、戦後の土地改変などによって壕の位置がわからなくなっていたり、落盤によって壕の形状をとどめていないものが多く、そのために工事中の陥没に起因して壕が発見されることも多々あり、その都度、南部土木事務所と協議調整を行って発掘調査を実施してきました。

事業の成果

第32軍司令部壕の調査期間中に現場説明会を開催したところ、町内を含む県内外から350人もの見学者があり、沖縄戦や司令部壕に対する関心の高さをうかがうことができました。また、第32軍司令部壕からの出土遺品の中に名前の刻まれた歯ブラシがあり、遺品の新聞記事を見た遺族に返還することができました。　ウヮーグァーウクイ毛近くの丘陵部からは10本もの日本軍壕が検出され、日本兵とみられる遺骨を含め多種多様の遺品が発掘されました。今後はこれら調査成果を報告書としてまとめていきます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,975	9,975				9,975	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	伝統芸能復活補助金	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	教育費	10
連絡先	889－7173		項	社会教育費	05
施策の大綱	町民文化の創造と継承		目	文化財保護費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	宮平路次楽の音楽	宮平の伝統である路次楽の復活を支援します。

事業の実施内容

70年以上途絶えていた宮平の路次楽(ピーラルラー)を復活するため、補助金を支出しました。

1. 首里城の御座楽研究会のメンバー2名に指導していただきました。

2. 楽器(ピーラルラー)を3本購入しました。

・楽器購入費	25,000円×3本＝	75,000円
・消耗品費		25,000円
・謝礼金		50,000円
合　　計		150,000円

事業の成果

路次楽への認識を深めることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	150	150					150

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原陸軍病院壕保存活用整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	教育部 生涯学習文化課 文化班		款	総務費	02
連絡先	889－7173		項	総務管理費	01
施策の大綱	町民文化の創造と継承		目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民を含む全国民を対象にして壕を公開する	戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを学ぶ場として活用します。

事業の実施内容

南風原陸軍病院壕保存活用整備事業

・発掘調査委託費 (予算額 4,200千円 決算額 4,200千円)

・安全管理委託料 (予算額 500千円 決算額 494千円)
(※この事業の予算は、全額平成17年度から明許繰越した予算です。)

南風原町指定文化財(史跡)である沖縄陸軍病院南風原壕群20号の整備・公開にあたり、壕内外部の考古学的発掘調査を行って、壕が構築・使用された状態を記録していきました。壕内には入院していた日本兵とみられる遺骨が未だに収骨されることなく取り残されていたり、遺品なども発掘されました。壕の発掘に際しては、調査中の安全を確保するため、壕天井部や壁面部及び丘陵全体の亀裂や基盤層の動きを観測する安全管理委託を行いました。

事業の成果

発掘調査によって、戦争体験者の証言を裏付ける遺構や遺物が確認できたことや、証言では得られなかった情報が発掘調査を通して明らかになったものもありました。戦争遺跡として全国に先がけて文化財指定した陸軍病院壕におけるこれまでの南風原町の取り組みは、全国から注目され、また評価もされてきています。今後は保存方法や活用方法を整備するとともに、しっかりと後世へ引き継いでいくことを考えなければならないでしょう。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,700	4,694				4,694	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町文化協会補助金	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	教育費	10
連絡先	889－7399		項	社会教育費	05
施策	豊かな心を育てる人づくりをめざして		目	文化センター費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内で活躍する、文化人（芸能家、美術家、書道家、写真家、声楽家等諸々）の集合体である南風原町文化協会	文化協会を支援することにより、個々の活動もより広くより深くなるとともに、文化のかおり高い町への推進を図ります。

事業の実施内容

・南風原町文化協会に補助金を交付　（予算額：1,500千円　　決算額：1,500千円）

・南風原町文化協会は町内で活躍する文化人（芸能家、美術家、書道家、写真家、声楽家諸々）の集合体です。

【南風原町文化協会の主な事業】

・主催事業として
- 総合文化祭
- ウチナーグチ大会（中央公民館と共催）
- グランドゴルフ大会
- 文化研修
- 会報「南風文化」の発刊

・町や他団体への協力事業として
- 社協チャリティー芸能公演
- 町新年宴会
- 町制施行記念式典出演
- 南風原ふるさと博覧会出演

他にも様々な活動を行っています。

事業の成果

・総合文化祭、ウチナーグチ大会、グラウンドゴルフ大会、文化研修を開催・行うことにより、はえばるの文化の継承、創造、発展に寄与した。
・会報の発行で会員はもとより、多くの町民に文化協会の存在を知らしめた。
・社協チャリティー公演、町新年宴会、町制施行記念式典等に出演することにより町勢発展に寄与した。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,500	1,500					1,500

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	文化センター移転事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課　文化班		款	教育費	10
連絡先	889－7399		項	社会教育費	05
施策	豊かな心を育てる人づくりをめざして		目	文化センター費	04

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	町民の文化行動・歴史文化学習の施設としたい。

事業の実施内容

・文化センター建設工事基本設計委託料
　・予算現額　1，838千円　　決算額　1，838千円

　常設展示や収蔵庫、町民の文化活動の拠点としての施設のあり方等を県内・県外の優れた施設を調査し、その成果を基本設計に反映させました。また、文化センター企画運営委員と設計業者との意見交換も5回に亘って行いました。なお、平成17年度より繰り越し(明繰)した実施設計委託料(20，000千円は)、不用額として決算処理しました。(まちづくり交付金事業を活用するため。)

事業の成果

現文化センターの状況を改善するべきところと、発展させるべきところを踏まえ、ハード面、ソフト面を含めた新しい文化センターの基本設計ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,838	1,838					1,838

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

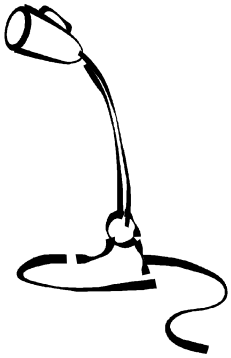
事業名	南風原町放送施設設置補助金	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課　庶務班		款	総務費	02
連絡先	889－4415		項	総務管理費	01
施策の大綱	地域コミュニティの充実		目	諸費	11

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	19字・自治会	町民に対し役場業務の伝達と地域行事の情報を伝達し、確実に行えるよう維持管理し、地域コミュニティ活動の推進を図ります。

事業の実施内容

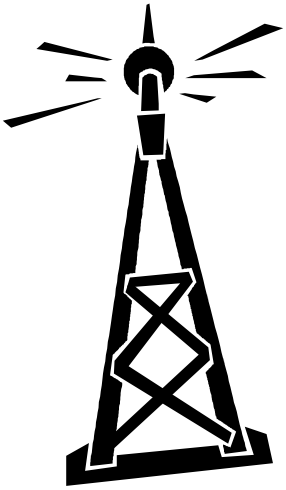
各字・自治会の放送施設の維持補修を行うもので、主な内容としてはスピーカーの新設古いスピーカーの修理、取り替え、台風による回線等の切断補修や老朽化による配線の取り替え、放送用アンプやカセットデッキの修繕等を行いました。

(平成18年度実績)



・新川　120千円
・兼城　79千円
・照屋　95千円
・兼本ハイツ　30千円

・与那覇　41千円
・宮平　29千円
・本部　11千円
405千円



事業の成果

区民・自治会住民に対し役場業務の各種お知らせなどの伝達、地域行事の情報を伝達することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	434	405					405

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原町区長･自治会長事務委託料	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課　庶務班		款	総務費	02
連絡先	889－4415		項	総務管理費	01
施策の大綱	地域コミュニティの充実		目	諸費	11

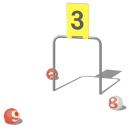
事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	19字･自治会長等	区長･自治会長と事務委託をし、行政では行き届かない情報の提供をお願いし、逆に町民からの要望や意見等を役場に伝える橋渡し役を務めていただきたいと考えています。

事業の実施内容

毎月2回、区長さん方に役場に集まってもらって定例区長会を開催して、その席で役場各課からの連絡事項や調査物の依頼などの協力を依頼しています。町の情報が町民のみなさんひとりひとりにいきわたるように努力しています。

（平成18年度実績）

2，952，144円×12月＝35，425，728円／年



事業の成果

行政と町民との橋渡し役としてを区長･自治会長に事務委託をし、行政の行き届かない情報の提供や町民からの要望等を役場に伝えるパイプ役になってもらう目的で委託契約を行ったが、十分達成できたと考えている。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	35,426	35,426					35,426

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国際交流事業・県外派遣事業（育英会）	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習振興課 社会教育班		款	総務費	02
連絡先	889－6181		項	総務管理費	01
施策の大綱	国際交流の推進、生涯学習・スポーツの振興		目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の中学生（国際交流事業） 町内の青少年（県外派遣事業）	青少年を海外に派遣し、ホームステイ等を通して、国際時代に対応しうる青少年を育てます。青少年が体育及び文化活動に参加するため県外等へ派遣される場合に経費の一部を助成して激励します。

事業の実施内容

○国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金　　予算額 2,500 千円　　決算額 2,500 千円

○内容（派遣期間：10月21日～10月27日）

今回の国際交流事業は団長、引率、団員8名の計11名がアメリカ合衆国ハワイ州へ派遣され、日系移民についての学習、ホームステイやワシントンミドルスクールへの体験入学、南風原町人会・沖縄県人会とのパーティー等の研修が実施されました。今後、団員がこの研修に参加したことにより大きく成長し、学校・地域等のリーダーとして活躍することを期待します。

○県外派遣事業補助金　　予算額 2,000 千円　　決算額 2,000 千円

平成18年
5月26日～5月29日　・・・・・　西日本年令別選手権水泳大会（南風原中1名）
6月23日～6月26日　・・・・・　九州女子ユースサッカー選手権大会（南星中1名）
7月26日～7月30日　・・・・・　埼玉国際ジュニアサッカー大会2006（津嘉山小1名）
7月31日～8月4日　・・・・・　九州中学生テニス選手権大会（南星中2名、引率1名）
7月29日～7月31日　・・・・・　全国中学生なぎなた大会（南風原中1名）
8月12日～8月14日　・・・・・　全日本少年武道（なぎなた）錬成大会（北丘小4名、引率1名）
8月12日～8月14日　・・・・・　九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会（北丘小1名）
8月18日～8月21日　・・・・・　みのうカップ夏季大会（翔南小15名、引率1名）
9月22日～9月25日　・・・・・　九州ジュニア水泳競技大会（南風原中3名）
10月7日～10月9日　・・・・・　ジュニアオリンピックカップ2006ハンドボール大会（南星中1名）
10月13日～10月15日・・・・・　全九州小学生バドミントン選手権大会（北丘小1年）
10月12日～10月16日・・・・・　南風原町、韓国サッカー交流（中学生43名、引率5名）
11月2日～11月6日　・・・・・　西日本硬式野球秋季大会（南風原中1名）
11月9日～11月13日　・・・・・　全国青年大会（陸上、バスケット）（南青連14名）
12月1日～12月3日　・・・・・　九州ガールズエイトサッカー大会（津嘉山小2名）
12月23日～12月26日・・・・・　ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾜｰﾙﾄﾞｻｯｶｰin八千代（南風原中2名、南星中2名）
平成19年
1月5日～1月9日　・・・・・　全九州ミニバスケットボール大会（翔南小18名、引率1名）
2月10日～2月11日　・・・・・　風越ｶｯﾌﾟ全日本ｱｲｽﾎｯｹｰ大会(南風原・北丘・琉大小　計3名)
3月6日～3月18日　・・・・・　熊日旗U-14九州交歓サッカー大会(南星中17名、引率2名)
3月24日～3月28日　・・・・・　全日本少年アイスホッケー大会(南風原中3名)
3月24日～3月29日　・・・・・　全日本中学生ソフトボール大会(南星中3名)
3月24日～3月30日　・・・・・　九州地区ソフトテニス大会、研修大会(南風原中1名)

事業の成果

国際交流事業については、町内の中学生を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地ミドルスクール（中学校）への体験入学やホームステイを行い、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの友情を深めることができました。県外派遣事業については、町内の青少年が県を代表して、九州や全国で行われる大会に参加することによって、精神面、技術面の成長につながり、向上心を高めることができます。また、保護者の負担が軽減でき、喜ばれています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,500	4,500				4,500	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	日韓スポーツ交流事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課　保健体育班		款	教育費	10
連絡先	889－2620		項	保健体育費	06
施策の大綱	国内･国際交流の推進		目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の2中学校の生徒等	日韓スポーツ交流事業を通して、国際的な視野と脂質をもった青少年の健全育成を図るためのスポーツ交流を推進を図りたい。

事業の実施内容

	予算額	決算額
日韓スポーツ交流事業補助金	3,000 千円	2,833 千円

期間:平成18年10月12日～16日
場所:韓国 ソウル市
参加者:男子41名、女子2名　引率等6名　　計49名

日韓スポーツ交流事業

事業の成果

町内の2中学項の生徒を韓国らに派遣し韓国の中学生とサッカーを通して交流を深め青少年の育成及び韓国でのサッカー交流をしてサッカーに対する心構えなど韓国の文化を学ぶことができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,000	2,833	2,833				0